

社会資本整備審議会 道路分科会 第4回北海道地方小委員会

議事概要

1. 日 時 平成23年8月11日(木) 10時00分～11時30分

2. 場 所 札幌第1合同庁舎10階 共用1・2号会議室

3. 出席者

[委員長]

加賀屋 誠一 北海道大学大学院 特任教授

[委員]

臼井 純子 (株)富士通総研エグゼクティブコンサルタント

第一コンサルティング本部 PPP 担当理事

平岡 祥孝 札幌大谷大学短期大学部 教授

古屋 温美 北海道大学大学院 特任准教授

山崎 幹根 北海道大学公共政策大学院 教授

4. 議 事

(1) 北海道横断自動車道(黒松内～余市)計画段階評価の試行について

【委員からの主な意見】

(地域意見を踏まえた政策目標(案)について)

- ・達成度評価の時間短縮効果は政策目標毎に意味合いが異なるので、例えば医療における短縮時間の意味を示すなど、時間短縮の意義が分かるように示した方が良い。
- ・政策目標の達成度評価では、時間短縮など定量的な項目が多いが、冬期の自動車の運転では、時間短縮だけではなく安全安心という観点が必要と考える。今回の試行というプロセスも踏まえ、定性的なものであっても、安全安心や防災などの項目を加え、政策目標に応じた評価を検討していくべき。

(地域意見を踏まえた整備方針(案)について)

- ・連結位置の考え方については、沿線の市街地アクセスだけでなく、防災の観点から、沿岸地域などへのアクセスという視点も入れてはどうか。
- ・当面現道を活用する区間については、二重投資にならないようにするべき。

(次回地域意見聴取方法(案)について)

- ・事業に要する費用や着工から供用までどのくらいの期間がかかるかなど、誰もが疑問に思うことに対し、具体的に示すよう検討するべき。
- ・ヒヤリハットの解消等、定性的な効果の具体例も示しながらアンケートを行うと良い。
- ・北海道横断自動車道(黒松内～余市)の具体的な活用の仕方やまちづくりにどう活かすのかなどについて、地域の意見を引き出すような質問項目の設定を検討するべき。
- ・大震災以降、防災に意識が行きがちだが、今後は、北海道の経済効果にも目を向ける必要がある。観光に関する資料(本委員会 参考資料)は判りやすく、これを活用してアンケートを行うと良い。
- ・ハガキアンケートのみでは判りづらいので、一緒に資料も送付することが有効。
- ・アンケート対象に応じて、質問内容を工夫したり、直接意見聴取を行うことも検討すること。

以 上